

9月の現場

今年の夏は記録的な猛暑となりました。厳しい暑さの中、体調管理など、ご苦労されたことと思います。9月に入ってもまだまだ厳しい暑さ残るなか、未来への風景づくりオーナー企業・団体のみなさん！除草作業や特定外来種駆除などにご協力いただきました。また、9月9日には、村民（当館友の会・源流人会）と一緒に除草作業をしていただき、そのあと、かつての白屋地区“銀座通り”の散策なども楽しんでいただきました。このような機会を通じて、それぞれの思いがつながり、双方のやりがい創出や課題解決につながっていけばいいなと思っています。

活動報告

お疲れさまでした。

9月5日：イムラさん作業の様子



9月でもまだまだ猛暑！熱中症にならないよう注意しながら、除草作業をしていただきました。

9月9日：大和ハウスさん作業の様子



大和ハウスさんは、毎年、創業者石橋信夫翁の生誕日となる9月9日に一斉除草作業を実施しています。八幡神社跡の石段も丁寧に掃除していただきました。



区画への侵入を防ぐために周辺のニワウルシを除去していただきました。

村民（源流人会）さんとの交流の機会がありました。おおたき龍神湖の水位が下がったことで、かつての小学校跡が姿を現しており、吊り橋がかかっていたことや登下校の際の思い出話で盛り上がりました。



「白屋の思い出かるた」に登場する、防火水槽で泳いだお話も聞きました。

源流館の動き

9月27日（土）森と水の源流館主催
「源流のつどい 外来種駆除ボランティア」

源流人会員さんにお手伝いいただき、白屋地区で増えている特にやっかいな外来種植物の駆除を行いました。村民さん、元住民の方を含めて9名が参加。お昼からは、川上村と協定を結ぶ大学の学生が、吉野林業の本場で間伐材を使った制作物や林業体験等を通じ、吉野産材や山村への理解を深めている木匠塾から17名の若い力が合流。ベテランの会員の方には刃物やクワなどの道具を使っての作業を指導する姿も。休み時間には昔の白屋の話や木匠塾さんが取り組んでいることなどで話が盛り上がり交流も深まりました。良い汗をかき充実した1日になりました。

特定外来生物ナルトサワギクの駆除の様子



作業前



作業中



作業後



ヒラヒラと舞うキアゲハ。在来種の花
粉を運んでほしいのですが、特定外来
生物ナルトサワギクの蜜を吸いに来
ていました・・・



午後から合流の学生さんにも白屋
での取り組みや外来種問題を知っ
ていただく機会になりました。



学生さんをベテランの源流人会
員さんがサポートしてください
ました。



「アカジソが咲いている！」梅干しづ
くりのために育てていたのが残って
いました。くらしの跡を感じる生き物
を見つけると嬉しくなります。



使いなれないクワを使ってニワウルシを根から退治！



参加者の声

- 「問題になっている外来種が分かり良かった」
- 「刃物やクワの使い方を知れて良かった」
- 「白屋のことが知れて良かった」
- 「若い学生さんとも交流できてよかった」



「白屋の生き物かわら版」は森と水の源流館が、旧白屋地区の生き物の観察記録にあわせて、いろいろな活動の情報を発行しています（不定期）。過去の記録は→<https://genryuu.or.jp/main/chosa/shizenchosa/>